CHARTERED
MAY 4, 1980

福岡中央
FUKUOKA CHUO

福岡中央ワイズメンズクラブ　ブリテン　2015年7月1日発行　URL http://www.fukuchu-ys.com/

2015.7

会長　主題　**なごやかに総意を求めて**
In pursuit of consensus.

スローガン
We can disagree in the spirit of respect and civility.

会長　草場　修二

今月の聖句

弟子達は、群集を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。激しい突風が起こり、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった。しかし、イエスは艫（とも）の方で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起して、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言った。イエスは起き上がって、風を叱り、湖に「黙れ、静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。
（マルコによる福音書第４章 36-39 節）

解説：イエスは再三、悪霊追放や病気を治す奇跡を行っておられますが、奇跡物語は科学的に証明できるような単純なものではなく、常識的に言って摩訶不思議、つまり常識では判断できない事象です。私は、その奇跡が可能かとどうかという詮索より、イエスがなされた行為として信じる、それが信仰ではないかと考えます。奇跡は人間の危機的窮状から救うことであり、その奇跡を行う条件として、イエスに対する信仰、信頼の必要性がしばしば強調されているように思えます。ですから、イエスは奇跡を行った後、しばしば弟子たちに向かって「君たちの私を信じるというのはそんなものか。主に対する信仰とはその程度のものか」と弟子たちの信仰の薄さを指摘されているように思えます。壹岐　裕志

また、新しい年度が始まりました。
四たび、役務が私を探してくれて今期の会長職を与えられました。このことを大変名誉なことだと思い、皆様の助言とご協力をいただきながら、誠心を尽くし、クラブ運営の役務に励みますのでどうぞよろしくお願いいたします。

現在、福岡中央クラブは、福岡YMCAおよびボランティアリーダーと日本語科留学生支援、フリースクール「えすぺらんさ」支援、ケニアヤスタディツアーを通じマトマイニチルドレンズホームへの献金等、自信を持って他に誇れる、価値ある活動を展開しています。それらのすべてを継続し、少しでも充実させましょう。また皆さんと話し合いながら、新しい支援活動も展開させることが出来ればいいなと思います。

最近私たちは、奉仕クラブにとって一番大切なものは、毎月の集いである例会だと学びました。このことを肝に銘じて、月２回の例会が自己啓発と学びの場となり、和やかに敬意と礼儀をもってさまざまな意見が飛び交う親睦の場になることを活動方針として、クラブ活動を進めていくつもりです。

皆様とともに歩む１年間でありたいと思います。あらためまして、よろしくお願いいたします。

７月の予定　PLAN OF JULY

第１例会：７月１１日（木）
１８：３０～２１：００
会　　場：ホテルセントラーザ博多
☎092-451-0111
内　　容：キックオフ例会　ドライバー井上

第２例会：７月２３日（木）
１８：３０～２０：３０
会　　場：福岡YMCA　天神校
☎092-781-7410

６月のデータ　DATA OF JUNE

●6月在籍者：１７人

	第１例会	第２例会
メンバー	１１名	１０名
メネット	４名	３名
ゲスト	２名	０名
ビジター	０名	０名

●6月出席率：　６４．７％

６月１１日（木）　第１例会
６月２５日（木）　第２例会

昨年度のファンドの状況

FUND　ファンド

６月	第１例会	１０，０００円
	第２例会	０円
累　計		９７，８３８円

福岡中央ワイズメンズクラブの
ブリテンは再生紙を使っています！
SAVE THE EARTH!

国際会長　主題　Wichian Boonmapajorn（タイ）　"Mission with Faith"「信念のあるミッション」（使命・目標）
アジア地域会長　主題　Edward K.W.ONG（シンガポール）　"Through Love,Serve"「愛をもって奉仕をしよう」
西日本区理事　主題　遠藤　通寛（大阪泉北）　「あなたならできる！きっとできる！」　"You can do it! Yes, you can!"
九州部部長　主題　五嶋　義行（阿蘇）　「九州から輝くワイズダム」"Shine our Wisedom from Kyushu island"

CLUB OFFICE　福岡市城南区七隈 1-10-10　092-831-1771
1-10-10, Nanakuma Jyonan-ku, Fukuoka city　814-0133　JAPAN

新役員2015年度の抱負

良い意味で居心地の良いクラブを目指します。
和やかで、厳粛で、他を認め、自分も認められ、成長の機会がたくさんあり、行かなきゃ損だと思えるようなクラブが理想です。
と言っても、あまり肩肘張らずに、無理せず力いっぱい頑張りたいと思います。

（会長　草場　修二）

2015年度の会計をさせて頂きます、松井カツ子です。入会してやっと一年の新参者ですが、よろしくご指導下さいますようお願い致します。

（会計　松井　カツ子）

書記としてご指名いただきありがたくお受けしました。まだ、わからないことばかりですがよろしくお願いいたします。最近、仕事の都合であまり参加できずに申し訳なく思っています。何事も勉強のつもりで頑張りますのでみなさんよろしくご指導ください。

（書記　井上　匡広）

6月例会報告

齊藤　皓彦

6月例会は、例年より一月遅く、6月11日にボランティアリーダーの歓迎会の例会でした。当日は、他の会議と重なったせいもあって、ボランティアリーダーとして、少し少数ではありましたが、4名のリーダーの参加がありました。2年生3名（鬼木翔太郎ピングーリーダ：野外サッカー、渡辺くるみミルクリーダー：野外、白水里歩スティッチリーダー：パレット）、3年生1名（太田那奈ポテチリーダー：パレット）でした。4つのテーブルにそれぞれ別れて着席し、ワイズメンバーとの交流を深めました。それぞれ力強くリーダーの日常活動とリーダーとなったきっかけを語って頂きました。今年度から新しくスタッフ（ウエルネス）として加わられた森本弘太さんも加わって、とても楽しい、お話しと感動と励ましを与えられる交流の時となりました。

当日は、来月わが中央ワイズメンズクラブに入会される、元リーダーの小樋井洋さんもゲストとして参加され、リーダー歓迎会にふさわしい会となりました。リーダーを育てることの大切さをしっかりと覚える事ができました。

また、メネット会からは、草場みちこさんを中心に手製の革製の素敵なブックカバーがプレゼントされ、メネットの温かい心使いに感動が広がりました。

例年通り、リーダー会への研修補助金も伊藤和行会長から授与されました。

ワイズメンズクラブの活動紹介や、リーダーからの出し物もありました。

最後に特別企画のスピーチ「内モンゴルでの植林活動」が坂本毅ワイズによって行われ、内モンゴルでの日本語教師とそれに続く砂漠緑化の植林活動が紹介されました。参加者の深い感動を呼び起こし、ワイズクラブの活動の素晴らしさと楽しさを体験する例会となりました。当日はモンゴル地震募金のニコニコ募金も行われ、21名の出席者が励まされ元気を与えられた6月例会でした。

韓国人徴用犠牲者慰霊碑を訪ねて

伊藤　和行

6月27日、今期最後のクラブ行事として有志による田川にある韓国人徴用犠牲者慰霊碑を訪問しました。事の発端はトンネクラブのイーさんがフェイスブックに書かれたことを読まれた中村メネットが中村メンと共に韓国人徴用犠牲者慰霊碑を訪れたことでした。今期トンネクラブから訪日が中止となったとき、何かトンネクラブとの交流を継続する機会が得られないかと話し合われ、この企画が決定されました。参加者は草場メン、メネット、壹岐メン、大浦メン、松井メン、伊藤メンの6名です。中村メンはメネットのお母様の体調が悪いとのことで参加が見送られました。

当日は、梅雨の只中でした。広大な田川歴史文化財群のなかに韓国人徴用犠牲者慰霊碑は高台の片隅にありました。碑文のなかには、「特に第2次世界大戦が勃発するや韓国人の徴用、強制労働は、さらに過酷なものになった。」と書かれ「冥界の御霊よ、願わくはその恨みを忘れ給え。そして安らかに眠りたまえ。」と記されていました。あとで訪れた田川歴史博物館で展示された山本作兵衛のコレクションに示された石炭採掘の過酷さは充分に我々を納得させるものでした。

これで今期のすべての福岡中央クラブの活動を終えました。今期、2つのカップルが入会されました。このことはクラブの若返りと活性化に大きな力が与えられました。また、後半の35周年記念例会と大野嘉宏元理事を迎えての講演例会は今後のクラブ活動への指針が与えられました。1年間クラブメンバーの皆さんありがとうございました。

YMCAニュース Y&Y

■ネパール地震被災者支援募金感謝！

先日 YMCA にワイズよりネパール地震被災者支援として募金をいただきました。心より感謝申し上げます。
街頭募金、企業からの募金等も合わせて、支援いただいた募金は日本 YMCA 同盟を通して現地ネパール YMCA へ一部送り、一部は直接ネパールに持って行き、現地の支援ボランティア団体や被災された留学生家族に直接お持ちしようと考えています。
現地での視察レポートはまた改めてご報告させていただきます（奥村）。

◆リーダー&スタッフ紹介コーナー

♠2015 年度に入り、スタッフは大きく入れ替わりました。今回は 2 名のスタッフをご紹介します。
まずは、通信制高校・サポート校を担当している川波祐希（かわなみゆうき）さんです。七隈に勤務しています。

Q. 入職の動機
A. ハローワークにて偶然求人票を目にしたことがきっかけです。
前職は全く教育に関係あるお仕事ではなかったのですが、ご縁がありまして入職という運びになりました。

Q. 今の課題
A. まずは、細かい仕事内容を早く身に付けることだと思います。
それと同時に、生徒達との信頼関係を築いて寄り添うような形で力になれたらいいなと考えています。

Q. これからの夢
A. 色んな課題を抱える生徒が多い中、それぞれの夢に毎日一歩でも近づいていけるようにサポートして「YMCA 学院高等学校を卒業して良かった！」と言ってもらえるよう頑張ります。

♥もう一名は国際教育部（外国語）成人英語担当の園田圭美（そのだたまみ）さんです。天神国際センターに勤務しています。英語スタッフとして生徒のみなさんと共によい英語学校を作っていけるよう日々奮闘しています。

Q. 入職の動機
A.子どもの頃から YMCA リーダーが派遣されているキャンプ等に参加していました。
またアメリカ滞在中にも YMCA ボランティアの方々と交流する機会があり、YMCA は自分の中で身近な存在でした。そんな親しみのある YMCA で、アメリカ滞在中に培った英語力を活かせる、YMCA の英語学校に携わりたい。という思いで入職いたしました。

Q. 今の課題
A. 日々のルーチンワークをミスなくこなすことはもちろんの事、今後は想像力を働かせて「YMCA の英語学校だからこそ出来る！」英語プログラムを企画したいです。それには YMCA についてもっと知り、生徒さんのニーズを学んでいく事が必要です。
その為には講師とのラポールを計りながら、日々より良い授業を提供できる環境を作っていきたいです。

Q. これからの夢
A. 今後子ども達が英語を学ぶ機会が増えていくと思われます。成人英語だけでなく、子ども達の英語力向上に貢献できたらいいです。通常の教室で行われる授業だけでなく、大自然の中、お友達と協力し、楽しい経験を通して学べる「英語キャンプ」等を企画できたらいいです。
まだまだ未熟ですが頑張っていきます！！

年末街頭募金については東日本大震災被災者への募金活動でもありましたが、そこにネパールの学生は参加し、街頭で募金を叫んでくれました。今度はこちらがその恩返しをするときかもしれません。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします

HAPPY BIRTHDAY OUR FRIENDS!!

井上　圭子　INOUE, Keiko　7月13日生まれ
5月に娘も無事産まれ、生活ががらっと変わりました。今年のモットーは" 丁寧に暮らす" です。皆さんにお会いできる日を楽しみにがんばります。今年も主人共々よろしくお願いします。

第２例会報告　6月25日

出席者：壹岐 伊藤 大浦 大浦京子 奥村 草場 草場みちこ 齊藤 坂本 坂本有紀 中村 堀田 松井

議 題

1. 西日本区大会報告　出席者 伊藤 中村　青年会員獲得賞受賞
2. 福岡 YMCA 協議会報告　出席者 伊藤 堀田
3. 韓国人慰霊碑訪問の件参加者 伊藤 壹岐 大浦 草場 草場みちこ 松井
   参加費 1,000 円／1人
4. 7月キックオフ例会 ドライバー 役員会
   交代式立会人 中村
   前年度表彰　中村 堀田 田中 草場
   小樋井さん入会式
   ニコニコタイムを会食の後半に設定する
5. ブリテン原稿 6月例会報告 齊藤 誕生日 井上圭子(13日) 役員の抱負 草場 松井 井上
6. 8月例会　20日 納涼例会(ネパール留学生との集い) 会費 3,500 円
7. 今期の中間決算報告 壹岐会計が報告
8. 来期の活動計画案　10月 音楽の夕べ「馬頭琴演奏」
   2月 YMCA 留学生を囲む例会
   YMCA 祭に出店は単独では無理、リーダー会と協働の案が出た。
   例会ドライバーが決定した
9. 来期の予算案 草場次期会長が説明
10. 九州部第１回評議会報告　参加者 草場 松井 伊藤 坂本 堀田

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理事通信[VOL. 1] 2015年7月１日発行

主題「あなたならできる、きっとできる」

"You can do it!　Yes, you can!"

生きる　しなやかに　さわやかに

Live flexibly and refreshingly

2015～2016 西日本区理事　遠藤 通寛

みなさま、第１９代西日本区理事遠藤通寛です。これから１年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。上記の睡蓮、昨年の暮れには１センチにも満たず、浮草の様に水面に浮かんでおりました。つい最近このように咲き始めました。越年させるのには工夫が必要です。

ワイズメンズクラブも、最初はこのように小さな芽から、先輩たちが大変な愛情と情熱、英知を絞り現在の形になっています。若い芽を大切に育て次代のワイズの森に育てたいものです。第１８回西日本区大会の理事引継式でお話をさせていただきました。私には１つの夢と２つのお願いがあります。

１つの夢はロースター内のDBC・IBC の空欄を埋めること。お願いは①ロールバックマラリア運動をおおいに支援していただきたいこと②５年目を迎えた東北被災地支援とメネット事業国内プロジェクト推進　盛岡クラブ、仙台クラブ、仙台青葉城クラブ、仙台広瀬川クラブが行おうとしている被災地での新クラブ設立のための支援です。

夢・・・DBC・IBC 交流では多くの学びと友情の輪が広がります。新しい入会者の皆様にもワイズの醍醐味を体験していただけることと存じます。新しい扉をあけましょう。眺めているだけでは何も起りません。

お願い①ロールバックマラリア運動は現在大変な成果を見せているようです。２０００年から２０１３年の間に死亡率は約47%減少したようです。でもまだ１日約１６００人の方が亡くなっているそうです。乳幼児の死亡率は高く、多産は貧困と女性の学習の機会を奪うこととなるでしょう！皆様、救える命を今、救いましょう！

②被災地支援金は仙台YMCA 等に於いて大変有意義にお使いいただいております。また、西日本区の各クラブの皆様方の被災地訪問のご様子なども仙台YMCA のホームページ、また、現地で聞くことが出来ました。是非今年度も支援をお願いいたします。また、メネット国内プロジェクトの支援先ですが、宮古、石巻での新クラブ設立には大変なご苦労があります。花巻から宮古までの距離は大変なものですが、出張例会をされて宮古のかたと交流されているようです。石巻も商店街の中にある石巻センター（床が傾いております）などにおいて、皆様設立にむけての活動をされているようです。メネットはワイズの応援団ご支援宜しくお願いたします。YMCA と共に皆様と活動できる事に感謝申し上げます。